

名古屋市立大学病院

病院長名	松川 則之
所在地	〒467-8602 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1
交通案内	地下鉄：桜山駅下車3番出口 直結 市バス：「市立大学病院」または「市立大学病院」下車

□ 病院の特徴

当院は地域の中核医療機関として日々安全で開かれた医療を提供しています。2021年4月に東部・西部医療センターが名古屋市立大学医学部附属病院となり、2023年にはみどり市民病院とみらい光生病院、2025年にはリハビリテーション病院が大学病院となりました。病床数約2,200床からなる全国最大級の大学病院群となり、今後も地域の医療を担うとともに、高度先進医療・大規模臨床研究・優れた医療人の育成が可能となります。さらに救急災害医療センターがオープン予定です。救急医療のみならず、大規模災害時において医療をリードする地域の中核的医療機関として市民の皆様の健康と安全を守ります。

□ 研修プログラムの特徴

名古屋市立大学耳鼻咽喉・頭頸部外科専門研修プログラム

1. 基幹施設は名古屋市内、連携施設は愛知県内を中心に東海地区の都市部に広く分布し、高度診療と地域医療の幅広い研修が可能です。
2. 基幹施設と連携施設で、手技手法は標準化されており、研修施設が変わっても同等のスキルを身につけることができます。
3. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科の専門分野は多く、それぞれのグループに所属することで、より深く研修を積むことが可能です。
4. 名古屋市立大学が主催する研修・研究会は多く、知識や経験を共有できることはもちろん、発表することもできます。
5. 基幹施設では自由に参加できる症例検討会や手術カンファレンスを開催しています。また、専門医試験に特化した専攻医向けの勉強会を開催しています。

<研修モデル>

コース	a	b	c
1年目	基幹	連携	連携
2年目	連携	基幹	基幹
3年目	連携	連携	がんセンター
4年目	連携	連携	がんセンター

詳細は名古屋市立大学病院総合研修センターHPを参照

http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/specialist_prg/dept.html



耳鼻咽喉科 HP もご参照ください。

<http://ncu-ent.umin.jp/>



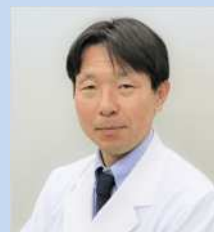
□ 主な連携施設

一宮市立市民病院、総合大雄会病院、海南病院、江南厚生病院、春日井市民病院、名古屋市立大学医学部附属東部医療センター、名古屋市立大学医学部附属西部医療センター、日赤愛知医療センター名古屋第二病院、愛知県がんセンター病院、豊田厚生病院、安城更生病院、豊橋市民病院、成田記念病院 など

□ メッセージ

耳鼻いんこう科 部長 岩崎 真一

都市型大学病院で高度医療を、
東海地区基幹病院で
地域医療を実践。



名古屋市立大学耳鼻咽喉・頭頸部外科プログラム

は、基幹病院と連携施設との緊密な連携によって構成されています。検査から診断、手術までのプロセスを有機的に組み入れており、標準以上の高度なスキルを身につけることができます。また、臨床に関連する研究テーマも豊富で、リサーチマインドのある専門医の育成を目指しています。臨床と研究のバランスのとれたプログラムで、高度なスキルを身につけたい専攻医をお待ちしています。



□ 募集要項

※名古屋市立大学病院で勤務する場合

・採用予定人数	耳鼻いんこう科は連携施設を含め例年10名程度です。
・給与／月額	357,900円～436,200円 (勤務区分・各診療科の外勤の状況により異なる)
・当直回数／月	4回程度 (診療科により異なる)
・当直料／回	24,000円 ～ 34,000円
・その他	年間有給休暇20日間、通勤手当、超過勤務手当、共済組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険等あり
・応募連絡先	管理課 医療人連携・育成支援係 担当者 専攻医募集担当 電話番号 052-858-7527 Eメール s-kensyu@med.nagoya-cu.ac.jp